

データ利活用・業務改革支援ツール使用料の積算根拠及び現状での部ごとの活用状況

総務部 業務改革推進課

1 データ利活用・業務改革支援ツール使用料の積算根拠

5つのデジタルツールの使用料で構成されています。

内容	金額(千円)	積算根拠
RPA ツール (※1)	4,061	開発ライセンス 4 本、実行ライセンス 3 本、設定費用
ノーコードツール (※2)	7,980	本体ライセンス料(317 本)及びフォームや帳票出力等の拡張機能に関する費用
BI ツール (※3)	1,307	開発用ライセンス 6 本、参照用ライセンス 25 本の費用
AI-OCR (※4)	370	AI-OCR ツールライセンス費用
生成 AI (※5)	1,716	初期設定費用及び月額利用料に利用月数を掛けた費用
合計	15,434	

2 部ごとの活用状況

令和 7 年度 2 月時点の活用状況は以下のとおりです。実際の業務でツールを運用している実績がある部局に○を付けています。BI ツールに関しては、ライセンス数に限りがあるため、主に総務部と企画経営部で活用しています。

部名	RPA	ノーコードツール	AI-OCR
企画経営部	○	○	
市民交流部	○	○	○
総務部	○	○	
都市安全部		○	
都市整備部		○	
健康福祉部	○	○	○
子ども未来部	○	○	
環境部		○	
産業文化部		○	
消防本部		○	
選挙管理委員会事務局		○	○
監査委員事務局			
議会事務局		○	
管理部		○	
学校教育部		○	
社会教育部		○	

- ※1：RPA ツール 資料 No.40 参照
- ※2：ノーコードツール 資料 No.42 参照
- ※3：BI ツール ビジネス・インテリジェンスツールの略。企業や行政が持つデータを分析・可視化して、経営や業務に役立てるためのソフトウェアのこと。
- ※4：AI-OCR 紙や画像データに書かれた文字を AI で読み取り、手書きや複雑な帳票も自動でデータに変換する技術のこと。
- ※5：生成 AI 人間の指示に応じて文章、画像、プログラム等を生成できる AI モデルに基づく AI の総称。